

行事等

- 4月1日：インターペット 2023 に村中副会長が出席
- 4月4日：第84回日本獣医師会雑誌編集委員会
- 4月6日：令和5年度中国地区獣医師会連合会定期総会に境副会長兼専務理事が出席
- 4月9日：令和5年度第1回関東・東京合同地区獣医師会理事会に村中副会長，境副会長兼専務理事が出席
- 4月11日：第37回産業動物臨床・家畜共済委員会(WEB併用)
- 4月12日：第45回GEA実行委員会に境副会長兼専務理事が出席
- 4月13日：令和5年度畜産振興事業（農場管理認定・専門獣医師等認定活動支援事業及び遠隔獣医療技術向上・普及体制構築支援事業）ヒアリング（WEB）に境副会長兼専務理事が出席
- 4月14日：令和5年度第1回業務運営幹部会
：令和5年度アジア地域臨床獣医師研修事業開講式
- 4月17日：令和4年度日本獣医師会獣医学術学会誌編集委員会（WEB）
- 4月21日：マイクロチップ制度の在り方に関する円卓会議に境副会長兼専務理事が出席
- 4月26～29日：第38回世界獣医師会大会（WVAC）に藏内会長，砂原副会長，村中副会長，境副会長兼専務理事が出席（台湾）

案内

獣医コミュニケーション研究会（NDK）

日本獣医師会雑誌「獣医療とコミュニケーション」連載コラボセミナー

NDKでは、連載「獣医療とコミュニケーション」と連動したコラボセミナーを予定しております。著者の方に連載記事と関連した内容についてさらに掘り下げてお話しいただきます。参加費無料でzoomにて行いますので、ふるってご参加ください。

日時：6月26日(月) 19:30～21:00

講師：田中圭子さん（(一社)メディエーターズ代表理事）

演題：「獣医療における人間関係で活かされるコミュニケーション」

（日獣会誌5月号掲載）

進行：堀北哲也（日本大学）

申込先：[https://forms.gle/](https://forms.gle/A8qU1CMC6tBni5Yu5)

A8qU1CMC6tBni5Yu5

申込締切り：当日まで可



お問い合わせ先：堀北哲也（horikita.tetsuya@nihon-u.ac.jp）

案内

2023年度第13回 家畜感染症学会シンポジウム・総会

テーマ：基礎と畜産現場を結ぶ

～感染症を予防するための免疫・栄養～

日時：2023年6月10日(土) 10:00～17:30

会場：大阪公立大学中百舌鳥キャンパス
(〒599-8531 堺市中区学園町1-1)

開催方法：対面ならびにWeb配信による
ハイブリッド形式

参加費：正会員・賛助会員：3,000円
非会員：5,000円 学生：無料

事前登録：<https://kachikukansen.infotec-ss.jp/20230610/>

※参加には事前登録が必要です。
当日の受付は行いません。

※対面参加・Web参加に関わらず、参加費は
同額となります。

※参加登録締切：2023年5月27日(土)

内容

■シンポジウム1：

感染症を予防するための免疫とは

座長：大塚浩通 (帯広畜産大学)

- 基調講演：感染に対抗する生体のしくみ

山崎 晶 (大阪大学)

- オーバービュートーク

- 1 粘膜における病原体と免疫等を活用した

畜産現場における感染症予防の未来

長澤裕哉 (農研機構)

- 2 自然免疫を活用した畜産現場における

感染症予防の未来

石川真悟 (大阪公立大学)

■ランチョンセミナー

■シンポジウム2：

感染症を予防するための栄養とは

座長：國澤 純 (国研医薬基盤・健康・栄養研究所)

- 基調講演①：

生体防御システムにおけるエネルギー代謝の影響

座長：國澤 純 (国研医薬基盤・健康・栄養研究所)

- 基調講演②：

家畜の栄養と炎症応答

—栄養素の持つ抗炎症作用—

佐藤 幹 (東北大学)

- オーバービュートーク

- 1 栄養を活用した畜産現場における

感染症予防の未来

芳賀 聡 (東北大学)

- 2 抗菌因子、腸内細菌等を活用した

畜産現場における感染症予防の未来

鈴木直樹 (広島大学)

2023年4月10日時点の予定を掲載しておりますので、今後変更となる可能性がございます。

変更の際は、学会HPやメールニュースにて、皆様にお知らせいたします。

最新情報は学会ホームページ (<http://www.kachikukansen.org/>) からご確認ください。

案内

日本ウマ科学会 「認定馬臨床獣医師」認定のための第4回認定試験のご案内

日本ウマ科学会は、わが国の馬臨床獣医師が備えるべき専門知識と臨床技術に関する最新の水準を明示し、馬臨床獣医師の質的レベルを一般社会に広く開示することを目的に、会則第3条5項に基づき、2019年から馬の臨床を専門とする獣医師の認定を行っております。つきましては、第4回認定試験を下記のとおり実施します。

1 試験の日時

2023年11月28日(火) 14:10～15:10 (60分間)
第36回日本ウマ科学会学術集会に付帯して開催
(オンライン開催になった場合であっても会場で実施予定)

2 試験の場所

KFC Hall & Rooms *部屋番号は受験票にて通知
〒130-0015 墨田区横網^{よこあみ}一丁目6番1号
(都営地下鉄大江戸線「両国駅」A1出入口より徒歩0分)

3 試験の種類等

- 試験の科目：試験科目は別に定める認定馬臨床獣医師モデル・コア・カリキュラム項目 (Competences for VETCEE accredited equine programs) 並びに関連項目より出題する。
- 試験の出題数：試験は合計で50問とする。
- 試験の方法：多肢選択方式による。

4 受験資格

次の各号に示す条件を全て満たした者について受験を認める。

- 本会の会員であること
- 馬専門の臨床獣医師として5年間以上の職歴を有すること

5 認定登録

認定試験に合格した者については、本会会長が認定証を交付し、認定馬臨床獣医師台帳に記載登録する。認定の失効、認定の停止及び取り消しについては、その事例が発生した時点で、本会のウェブサイトに公告する。

6 認定の効力

認定は5年ごとに更新手続きを行わなければ、その効力を失う。

7 受験手続

- 提出書類等
 - 受験申込み票
 - 履歴書(研究歴を含む市販A4版、写真添付)
 - 受験料を所定の銀行口座に振り込み、その振

込みを証明する書類のコピー

(2) 受験手数料

- 受験手数料：15,000円
- 提出書類等を受理した後は、受験手数料は返還しない。

(3) 振込先

みずほ銀行 山口支店 (店番号643)
口座番号：(普通) 3003142
名義：日本ウマ科学会臨床委員会

(4) 提出書類等の受付期間及び提出場所

- 提出書類等の受付期間：
2023年9月1日(金)～10月31日(火)
- 提出書類等の受付場所：
認定事務局 (株)アイベック
〒170-0002 豊島区巢鴨1-24-12
2023年10月31日(火)までの通信日付印のあるものに限り、受け付ける。

(5) 受験票の交付

受験票は、2023年11月10日(金)までに送付する。この送付日を数日過ぎても受験票が届かなかったときは、認定事務局である(株)アイベック(☎03-5978-4067, E-mail: jses_exam@ipecc-pub.co.jp)まで連絡すること。

8 合格者の発表

試験の合格者は、2024年1月5日(金)以降に認定証を郵送する。不合格者にはその旨を郵送する。

9 その他

- やむを得ない事由が生じたときは、試験の場所もしくは期日を変更し、または試験を中止することがある。その場合は、その旨を公示し、通知する。

(2) 問合せ先：認定事務局 (株)アイベック

〒170-0002 豊島区巢鴨1-24-12
☎03-5978-4067
E-mail: jses_exam@ipecc-pub.co.jp

日本獣医師会獣医学術学会誌投稿原稿の募集について

日本獣医師会学会においては、構成獣医師をはじめ多くの獣医療関係者からの獣医学術学会誌掲載の研究論文を随時募集しておりますので、奮ってご投稿願います。

学会では、獣医師専門職をはじめ、獣医学系大学の学生、獣医学関係分野の研究者等が学術研究の発表をされる場として、獣医学術学会誌への投稿原稿を広く募集しています。

日本獣医師会が毎年度開催する獣医学術学会年次大会で一般口演された研究発表等も、是非ともご投稿いただき、誌面での発表をお願いします。

なお、投稿に際しては「日本獣医師会獣医学術学会誌投稿規程（第76巻5号240頁）」及び投稿原稿の審査や編集が円滑に行われることを目的に策定された「日本獣医師会獣医学術学会誌投稿の手引き（第76巻5号245頁）」を参照願います。

お知らせ

日本獣医師会獣医学術学会誌の著者負担金について

日本獣医師会獣医学術学会誌に係る著者負担金は以下のとおりです。

1 投稿規程第9条第1号関係

筆頭著者が会員構成獣医師及び個人賛助会員（学生賛助会員を含む。）の場合は、審査料及び掲載料ともに要しないが、これ以外の者については、次の審査料及び掲載料を納入する。

(1) 投稿時審査料：

10,000円

（ただし、学生の場合は、5,000円とする。）

(2) 採用時掲載料：

50,000円

（ただし、学生の場合は、10,000円とする。）

2 投稿規程第9条第2号関係

超過頁の作成料：15,000円／1頁

3 投稿規程第9条第3号関係

原図の作成料：

実費相当額（1枚につき5,000円程度）

4 投稿規程第9条第4号関係

別刷の印刷料：

実費相当額（モノクロ刷り上がり4頁（表紙付き）100部につき30,000円程度）

ただし、カラー印刷を希望する場合は、応相談。

（令和4年1月1日改訂）